

例平癒之間、始令洗手足給、廿八日乙卯、越後守室、赤斑瘡所勞云云、廿九日丙辰、相州御沐浴、十月二日己未、六波羅飛脚參著、去月廿七日、四宮親惟尊薨御、又廿四日、前將軍三位中將家、御早世之由申云云、

〔百練抄後十七〕康元元年八月廿七日乙酉、近日赤斑瘡流布、上下病惱、九月五日壬辰、天皇令煩赤斑瘡御、十七日甲辰、赤斑瘡御祈等繁多、廿五日壬子、主上赤斑瘡御惱、御落居之後、始御沐浴云云、同日、雅尊親王院皇子、女薨、依赤斑瘡也、同日、三位中將賴嗣卿薨依赤斑瘡也、十月五日壬戌、改元改建長、爲康元、權大納言良教卿以下參之、依赤斑瘡也、

〔痘疹必用〕康永壬午流行、應長元ヨリ三十二年目ナリ、園太曆云、康永四年九月十六日、因天下疫癘、左大史小槻清澄奏進、改元禱等、古例三十條云々、改元祈神等の事、前例ニ合考ルニ、蓋麻疹ニ相違なし、南北兩朝已後、文明三年の流行迄、百三十年相隔、文明三ヨリ永正三年迄、三十六年目なり、永正三ヨリ天正十五年丁亥流行迄、八十二年目也、天正十五ヨリ元和二年丙辰流行迄、三十年目也、元和二ヨリ慶安二年己丑流行迄、二十四年目也、慶安二ヨリ元祿三庚午流行迄、四十一年目也、同四辛未二年相續流行ス、元祿四ヨリ寶永五年戊子流行迄、十八年目也、如此流行年數遠近あるものは、全く麻毒は世界萬國を周流して、本邦へ傳來する故なり、天時令邪のなす處に非ること明なり、

〔年代記殘篇〕嘉吉元年、天下麻疹流行、

〔筒井家記〕文明三年二月ヨリ赤疹多クハヤリ、人多ク死ス、

〔多門院日記〕文明十六年六月三日、自今春疱瘡并瘰ハシカ以外増、七八十歳之物ニ至マデ病之、於小兒不及言者也、極老者病氣大事也、他國多以令死去、於當國當所國○大和者依瘰死去之物少シ、○下

〔赤斑瘡辨考證〕按に、瘰の字は、字書に麻疹の義なし、倭玉篇に、瘰ナノツクレル、また、ツシムヤ